白山市立白峰小学校　校長室だより

しらみね物語 NO.１１



令和2年１１月6日

どんな行動をとればよいか！？　～SDGｓを意識して～

（１０月３０日全校朝会 校長講話より　抜粋）

さて、これは何でしょう。持続可能な開発目標のことでＳＤＧｓと言います。環境問題や福祉や平和の問題等、世界的な様々な問題の解決方法を考え、地球上のすべての人々がいつまでも健康で幸せに暮らせるようにしていくための目標です。全部で１７個あります。５、６年生は、既に勉強していますね。

初めて聞く人も、実はすでにやっていることが多いのですよ。たとえば、歯磨きの時に水を出しっ放しにしない。教室に誰もいない時は、電気を消す。買い物に行くときは、マイバックを持参して、レジ袋を買わない。水を出しっ放しにしないのは、目標６の取り組み（誰もが安全な水とトイレを利用できるようにしよう）。教室の電気を消すのは、目標７の取り組み（エネルギーをみんなに、そしてクリーンに）。マイバックを使うのは、、目標１３の取り組み（気候変動に具体的な対策を）。給食を残さずに食べるのは、目標１２の取り組み（作る責任・使う責任）。９月のヤマメの放流は、目標１４の取り組み（海の豊かさを守ろう）。１０月の苗木の里親プロジェクトは、目標１５の取り組み（陸の豊かさを守ろう）。

５、６年生は１０月５日に、ぶんぶんボウルさんとのSDGｓの学習会があって、世界には男女に不平等があることも学んできたのですね。「日本が世界でも男女差別が多い、男女平等が進んでいない国だということがわかってびっくりしました」という感想を持った人がいました。男性も女性も人間として平等です。差別は許されません。

周りの人にやさしくして、いじめがないというのも世界中の目標です。普段から「元気よくあいさつをしよう」と言っていますが、これは目標１７です。あいさつや気持ちのよい返事で世界の人とつながり、１７個ある目標達成につながっていくのです。

SDGｓがゴールを迎えるのは、2030 年。10 年後です。皆さんは何歳になっているでしょうか。皆さんが大人になったときに目標が達成できているためには、今から取り組みに参加することが大切です。自分の国だけ、自分だけという考えはありえません。世界はつながっているのです。「自分さえよければいい」という考えではなく、自分たちだけ、白峰だけ・・・ではなく。地球に住むすべての人が、誰一人として取り残されず、幸せに暮らせる世界を実現する。そのために、あなたはどんな行動をとればよいでしょうか？これからの未来を生き抜くみなさん。SDGｓを意識して行動しましょう。



＜秋の外掃除＞　10月30日(金) 13:00～13:30

冬を迎える前に校舎周りをきれいにしようというめあてで、全校で外掃除を行いました。4～6年生は側溝の掃除、1～3年生は石碑の周りを中心に落ち葉や枯れ枝拾いを担当しました。冷たい風が吹く中でしたが、一生懸命掃除をする姿はとても立派でした。ありがとう！


【側溝はスッキリきれいに】


【チームワークもバッチリ】


【落ち葉がたくさん】

＜学習発表会＞　11月4日(水)13:30～15:00

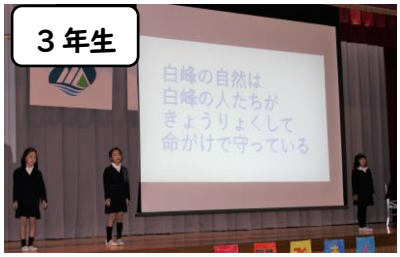
各教科等の学習成果を、全校のみんなと保護者・地域の皆様に発表しました。相手意識をもって話す・聴く態度はとても立派でした。参観くださいました皆様、ありがとうございました。



【アシナガバチの女王観察記録】



【作文 ネコとトカゲのたたかい】



【白峰じまん 白峰の自然をどう守るか】



【白山はどうしてくずれやすい山なのか】



【雨の後土砂はどれくらい流されるか】



【私たちの将来の夢 25才のパスポート】


【司会やあいさつは6年生】



【図工の作品展示 力作ぞろい！】



【これまでの学びの足跡を紹介】

参観してくださった方々より、あたたかい感想をたくさんいただきました。一部紹介します！

・みんなが大きな声で堂々と発表している姿がとても素敵でした。

・深く考えたり、観察したりしたことがよく伝わってきました。白峰のこと、白山のこと、とてもわかりやすく、白峰小学校らしい学習発表会で、楽しかったです。

・ほかの学年の発表を聞いている時の態度も、とてもよかったと思いました。